



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 第一工業製薬株式会社
コード番号 4461 URL <https://www.dks-web.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山路 直貴
問合せ先責任者 （役職名）代表取締役常務取締役 （氏名）清水 伸二 TEL 075-277-2361
半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月5日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	37,611	6.2	3,868	56.3	3,603	39.7	2,182	73.7
2025年3月期中間期	35,431	21.3	2,474	—	2,579	—	1,256	—

（注）包括利益 2026年3月期中間期 3,561百万円（45.0％） 2025年3月期中間期 2,456百万円（178.1％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	223.97	—
2025年3月期中間期	131.25	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	102,398	51,974	45.4	4,390.42
2025年3月期	97,113	44,504	39.9	4,044.52

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 46,457百万円 2025年3月期 38,729百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	55.00	100.00
2026年3月期	—	60.00			
2026年3月期（予想）			—	80.00	140.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（2025年10月30日）公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	80,000	9.2	8,200	53.2	7,900	37.7	4,500	74.0	442.76

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2025年10月30日）公表いたしました「2026年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	10,684,321株	2025年3月期	10,684,321株
2026年3月期中間期	102,742株	2025年3月期	1,108,487株
2026年3月期中間期	9,745,395株	2025年3月期中間期	9,572,885株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (中間期)

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調が続いたものの、円安や原材料価格の上昇、海外需要の減速などにより先行き不透明な状況が続きました。世界経済においては、米国の金融政策の影響、中国経済の減速や欧州の景気停滞などにより成長の鈍化がみられました。また、化学業界では電子材料や自動車関連分野の需要回復がみられた一方、汎用化学品を中心に価格競争が激化するなど全体として厳しい事業環境となりました。

このような環境のもと、当社はハイエンドサーバ向け低誘電樹脂材料や新規電池材料の負極用複合接着剤の引き合いが一段と強まり、市場からの評価が着実に向上しています。その結果、成長領域における需要の拡大が業績を牽引し、増収増益となりました。中期経営計画「SMART 2030」で掲げた「ユニ・トップ」戦略のもと、高付加価値製品の拡充を進めています。今後も計画前倒しに向けて、各戦略を着実に実行してまいります。

当中間連結会計期間の業績としましては、『電子・情報』セグメントの電子材料の低誘電樹脂材料や『環境・エネルギー』セグメントの電池用材料の負極用水系複合接着剤が大幅に伸長したことにより、売上高は376億11百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

損益面につきましては、『電子・情報』セグメントや『環境・エネルギー』セグメントの売上高が伸長したことにより、営業利益は38億68百万円（前年同期比56.3%増）、経常利益は36億3百万円（前年同期比39.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は21億82百万円（前年同期比73.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、当中間連結会計期間より、当社グループの報告セグメントの区分を、材料別の「界面活性剤」、「アミノティ材料」、「ウレタン材料」、「機能材料」、「電子デバイス材料」、「ライフサイエンス」の6セグメントから、分野別の「電子・情報」、「環境・エネルギー」、「ライフ・ウェルネス」、「コア・マテリアル」の4セグメントへ変更しております。また、前年同期比につきましては、変更後の区分方法により作成した前中間連結会計期間の数値と比較しております。

<電子・情報>

電子・情報セグメントの売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、モニターに用いられる特殊界面活性剤が大きく落ち込み、ディスプレイ材料のフレームに用いられる難燃剤が低調に推移しました。電子材料の低誘電樹脂材料は大幅に伸長しました。

海外では、ディスプレイ材料のフレームに用いられる難燃剤が大きく落ち込み、電子材料の低誘電樹脂材料が低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は139億76百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

営業利益は、売上高が伸長したことにより、27億94百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

<環境・エネルギー>

環境・エネルギーセグメントの売上高は、総じて大幅に伸長しました。

国内では、フロン規制に関連する環境配慮型の合成潤滑油が低調に推移しました。モビリティの電装部材に用いられる基板用封止剤や接着剤は大幅に伸長しました。太陽電池用途の高性能導電性ペーストは堅調に推移しました。

海外では、電池用材料の負極用水系複合接着剤が前期末に立ち上がったことで、大幅に伸長しました。太陽電池用途の高性能導電性ペーストは大きく落ち込みました。

その結果、当セグメントの売上高は93億31百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

営業利益は、高付加価値品の売上高が伸長したことにより、6億54百万円の営業利益（前年同期は2億1百万円の損失）となりました。

<ライフ・ウェルネス>

ライフ・ウェルネスセグメントの売上高は、総じて堅調に推移しました。

国内では、石鹼・洗剤用途が堅調に推移しました。食品用途のショ糖脂肪酸エステルは堅調に推移しました。

海外では、ショ糖脂肪酸エステルの香粧品用途が堅調に推移しましたが、食品用途は低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は68億96百万円（前年同期比2.3%増）となりました。

営業利益は、国内のショ糖脂肪酸エステルを中心に採算性が改善したことにより、2億86百万円（前年同期比43.9%増）となりました。

<コア・マテリアル>

コア・マテリアルセグメントの売上高は、総じて低調に推移しました。

土木・建築用途のトンネル崩落防止剤が低調に推移しました。ゴム・プラスチック製品加工用途の難燃剤は低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は74億6百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

営業利益は、高付加価値品の売上高が伸長したことにより、1億32百万円(前年同期は21百万円の利益)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は606億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ34億5百万円増加しました。これは主に、受取手形及び売掛金が6億90百万円減少したものの、現金及び預金が30億16百万円、商品及び製品などの棚卸資産の合計が8億90百万円増加したことなどによるものです。固定資産は417億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億79百万円増加しました。これは主に、投資有価証券が11億53百万円、建設仮勘定が5億62百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は1,023億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億85百万円増加しました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は280億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億17百万円増加しました。これは主に、支払手形及び買掛金が4億81百万円、賞与引当金が4億32百万円減少したものの、リース債務(流動負債)が9億8百万円、短期借入金が8億43百万円増加したことなどによるものです。固定負債は223億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ37億1百万円減少しました。これは主に、長期借入金が29億42百万円、リース債務が11億1百万円減少したことなどによるものです。

この結果、負債合計は504億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億84百万円減少しました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は519億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ74億69百万円増加しました。これは主に、公募による自己株式の処分等により資本剰余金が29億51百万円増加し、自己株式が22億21百万円減少したことに加え、親会社株主に帰属する中間純利益21億82百万円及び剰余金の配当5億26百万円などにより利益剰余金が16億56百万円、その他有価証券評価差額金が9億57百万円増加したことなどによるものです。

この結果、自己資本比率は45.4%(前連結会計年度末は39.9%)となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて30億30百万円増加し、195億86百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

＜営業活動によるキャッシュ・フロー＞

営業活動の結果、得られた資金は29億28百万円（前年同期は35億1百万円）となりました。これは、棚卸資産の増加8億79百万円（前年同期は50百万円の減少）などにより資金が減少したことに對し、税金等調整前中間純利益35億30百万円（前年同期は25億51百万円）、減価償却費15億71百万円（前年同期は16億4百万円）などにより資金が増加したことによるものです。

＜投資活動によるキャッシュ・フロー＞

投資活動の結果、使用した資金は12億67百万円（前年同期は9億97百万円）となりました。これは、有形固定資産の取得による支出13億69百万円（前年同期は10億77百万円）などにより資金が減少したことによるものです。

＜財務活動によるキャッシュ・フロー＞

財務活動の結果、得られた資金は14億75百万円（前年同期は43億72百万円の支出）となりました。これは、長期借入金の返済32億45百万円（前年同期は34億43百万円）、配当金の支払い5億26百万円（前年同期は4億30百万円）などにより資金が減少したことに對し、自己株式の処分による収入51億51百万円（前年同期はありません）などにより資金が増加したことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ修正いたしました。詳細につきましては、本日（2025年10月30日）公表の「2026年3月期通期連結業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,751	19,768
受取手形及び売掛金	19,842	19,152
電子記録債権	2,316	2,191
商品及び製品	11,987	11,739
仕掛品	18	18
原材料及び貯蔵品	3,894	5,033
前払費用	420	621
その他	2,029	2,137
貸倒引当金	△13	△10
流動資産合計	57,247	60,652
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,449	12,297
機械装置及び運搬具(純額)	5,524	5,772
工具、器具及び備品(純額)	1,199	1,354
土地	10,027	10,144
リース資産(純額)	1,756	1,598
建設仮勘定	440	1,003
有形固定資産合計	31,398	32,171
無形固定資産	250	253
投資その他の資産		
投資有価証券	5,694	6,847
長期貸付金	9	8
長期前払費用	387	297
繰延税金資産	124	164
退職給付に係る資産	1,631	1,634
その他	369	368
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	8,215	9,319
固定資産合計	39,865	41,745
資産合計	97,113	102,398

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,484	13,002
電子記録債務	500	566
短期借入金	6,300	7,143
リース債務	523	1,432
未払費用	320	326
未払法人税等	927	1,179
未払事業所税	42	21
賞与引当金	1,461	1,028
その他	2,971	3,348
流動負債合計	26,532	28,049
固定負債		
社債	6,000	6,000
長期借入金	17,114	14,172
リース債務	1,412	310
繰延税金負債	1,118	1,478
退職給付に係る負債	77	67
資産除去債務	74	74
その他	278	270
固定負債合計	26,075	22,374
負債合計	52,608	50,424
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,895	8,895
資本剰余金	7,275	10,226
利益剰余金	21,575	23,231
自己株式	△2,449	△227
株主資本合計	35,296	42,126
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,606	2,563
為替換算調整勘定	1,412	1,377
退職給付に係る調整累計額	413	390
その他の包括利益累計額合計	3,432	4,331
非支配株主持分	5,775	5,516
純資産合計	44,504	51,974
負債純資産合計	97,113	102,398

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	35,431	37,611
売上原価	26,706	26,956
売上総利益	8,724	10,654
販売費及び一般管理費	6,250	6,786
営業利益	2,474	3,868
営業外収益		
受取利息	14	26
受取配当金	75	90
持分法による投資利益	22	21
為替差益	107	—
その他	80	88
営業外収益合計	301	226
営業外費用		
支払利息	121	125
社債利息	18	18
為替差損	—	285
その他	56	62
営業外費用合計	196	491
経常利益	2,579	3,603
特別損失		
固定資産処分損	27	72
特別損失合計	27	72
税金等調整前中間純利益	2,551	3,530
法人税、住民税及び事業税	444	1,086
法人税等調整額	234	△109
法人税等合計	679	977
中間純利益	1,872	2,553
非支配株主に帰属する中間純利益	616	370
親会社株主に帰属する中間純利益	1,256	2,182

(中間連結包括利益計算書)

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	1,872	2,553
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△212	957
為替換算調整勘定	797	134
退職給付に係る調整額	△20	△22
持分法適用会社に対する持分相当額	19	△62
その他の包括利益合計	583	1,007
中間包括利益	2,456	3,561
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,529	3,081
非支配株主に係る中間包括利益	927	479

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,551	3,530
減価償却費	1,604	1,571
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△56	△36
受取利息及び受取配当金	△90	△116
支払利息	121	125
社債利息	18	18
持分法による投資損益 (△は益)	△22	△21
固定資産処分損	27	72
売上債権の増減額 (△は増加)	141	829
棚卸資産の増減額 (△は増加)	50	△879
仕入債務の増減額 (△は減少)	△333	△306
その他	△252	△1,034
小計	3,758	3,751
利息及び配当金の受取額	97	118
利息の支払額	△140	△144
法人税等の支払額	△213	△797
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,501	2,928
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△85	△81
定期預金の払戻による収入	85	81
有形固定資産の取得による支出	△1,077	△1,369
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	1	—
その他	80	103
投資活動によるキャッシュ・フロー	△997	△1,267
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	1,081
長期借入金の返済による支出	△3,443	△3,245
リース債務の返済による支出	△250	△246
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△430	△526
自己株式の処分による収入	—	5,151
非支配株主への配当金の支払額	△248	△738
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,372	1,475
現金及び現金同等物に係る換算差額	94	△106
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,774	3,030
現金及び現金同等物の期首残高	15,947	16,556
現金及び現金同等物の中間期末残高	14,172	19,586

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年8月25日の取締役会決議に基づき、2025年9月9日を払込期日とする公募による自己株式の処分(1,000,000株)を行いました。この結果、当中間連結会計期間において、資本剰余金が29億41百万円増加し、自己株式が22億9百万円減少しております。

この自己株式の処分等の結果、当中間連結会計期間末における資本剰余金が102億26百万円、自己株式が△2億27百万円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電子・情報	環境・エネルギー	ライフ・ウェルネス	コア・マテリアル	合計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	12,626	8,284	6,741	7,779	35,431
外部顧客への売上高	12,626	8,284	6,741	7,779	35,431
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,626	8,284	6,741	7,779	35,431
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失)	2,455	△201	199	21	2,474

(注) 報告セグメント利益又は損失の合計金額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	電子・情報	環境・エネルギー	ライフ・ウェルネス	コア・マテリアル	合計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	13,976	9,331	6,896	7,406	37,611
外部顧客への売上高	13,976	9,331	6,896	7,406	37,611
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	13,976	9,331	6,896	7,406	37,611
セグメント利益(営業利益)	2,794	654	286	132	3,868

(注) 報告セグメント利益の合計金額と中間連結損益計算書の営業利益は一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、当社グループの報告セグメントの区分は「界面活性剤」、「アメニティ材料」、「ウレタン材料」、「機能材料」、「電子デバイス材料」、「ライフサイエンス」としておりましたが、各分野の特性に応じた戦略立案、ステークホルダーの事業内容理解促進、効率的な管理・分析を可能にし、企業の成長を促進するため、「電子・情報」、「環境・エネルギー」、「ライフ・ウェルネス」、「コア・マテリアル」の4セグメントへ変更しております。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の名称および区分方法により作成したものを記載しております。